

私たちの活動や意見を平和委員会の なかまたちに伝えます
私たちの会費が日本平和委員会と茨城県平和委員会の活動を支えています



土浦平和の会

ニュースNo. 201 2008年11月

発行 土浦平和の会

事務局 土浦市神立町2664-2

TEL 831-9122

http://www.geocities.jp/ino011_jp/



見えていない核被害の恐ろしさを学ぼう

ビデオde学習会

ヒバクシャ～世界の終わりに

とき 12月 8日(月) 1時～

ところ 4中地区公民館視聴覚室

イラクの劣化ウラン弾、ヒロシマ、ナガサキの2次被曝、

アメリカハンフォードの核施設の低線量被曝など

地球を汚染する核物質による被害を追及したドキュメンタリー映画



母親連絡会の「赤紙」配りは

12月 8日(月) 7時～ 8時

土浦駅西口ペDESTロリアンデッキです

私たちの活動や意見を平和委員会の なかまたちに伝えます
 私たちの会費が日本平和委員会と茨城県平和委員会の活動を支えています

こんな人物を空幕長にした自衛隊の体質が問題

田母神俊夫氏が航空自衛隊幕僚長という要職にありながら、こともあろうに民間企業の懸賞に応募し、日本の植民地支配を正当化し、侵略戦争を美化したことが中国や韓国政府を怒らせている。空自のトップにある立場で論文を書けば、自衛隊の見解を代表していることになることは明白であるが、日本政府の公式見解に反する見解を平気で発表するような人物がトップの座についていたということに脅威を感じないわけにはいかない。

満州事変は関東軍司令官の独断によって始まった

関東軍が満鉄爆破の謀略によって満州進出を企てたとき、日本政府は不拡大方針を採ったにもかかわらず、関東軍の要請に応じて林銑十郎が独断で朝鮮軍を越境させ満州進出をおこなった。天皇もやむなく「この度は致し方なきも将来充分注意せよ」と追認したところから軍部の暴走の下地ができていったとされている。天皇自身にも米英に対する懸念を持ちながらも軍部が侵略拡大の方針を進めることに諒解を与えていたといわれているが、「成るべく平和的に外交でやれ、外交と戦争準備は平行せしめず外交を先行せしめよ」といいながら次第に対米開戦へと引きずられていったのである。



田母神更迭は当然だが、それだけでは済まないのでは・・・

中国外務省が「現役の自衛隊高官が公然と歴史をねじ曲げ、侵略を美化したことに非常に驚き、憤りを感じている」とコメントし、韓国外交通商省スポークスマンも「過ちを謙虚に反省し、歴史の教訓とすることが国際善隣友好関係の根幹であり、今回のような歴史の歪曲が繰り返されてはならない」と批判していることから、この事件は単に一個人の勝手な言動というにとどまらず、日本に対する近隣の警戒を呼び覚ます状況を生み出していると考えべきである。

靖国参拝問題や教科書検定問題に見られるように、日本政府の一部には近隣諸国が神経を尖らせる残滓があることを考えるならば、制服組の人事についても抜本的に見直していく必要があるのではないだろうか。

井上仁志

軍事費削減、自衛隊海外派兵反対を訴える

新聞意見広告にご協力ください (1口1,000円)

12月8日の朝日新聞に掲載されます

活動ごよみ

11・18 平和の会理事会 (コープ土浦)

12・8 母親連絡会「赤紙」くばり

ビデオ学習会 (4中地区公民館)

12・16 平和の会理事会 (コープ土浦予定)

正月は 平和ワイン で乾杯

平和の会ニュース、平和かわら版 (PDF版) 配信しています

平和のなかまに伝えたいニュースやご意見を事務局にお寄せください FAXは 029-831-9122

早い、確実に届くご希望の方は eMail アドレスご連絡ください